

【岡山県津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町】【岡山労働局ハローワーク津山・ハローワーク美作】 地域産業の人材確保のため、共同事業として学校訪問活動を実施

【課題・目的】

少子・高齢化が進展している岡山県北地域にとって、若者労働力の確保が課題となっている。

このため、県北高校生（大学生等を含む。）が、地元の企業へ就職し、定着できるように支援を行うことを目的とする。

【実施概要】

地元企業で構成する団体と行政機関が管内の各学校（H26年度、16校）をグループを組んで訪問し、企業・学校・行政のそれぞれの立場から意見交換を行う。

【役割分担】

【津山広域事務組合】

津山広域事務組合（構成団体：津山市、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町）が行う事業（高校卒業後進学先での就活に役立つ情報の提供を目的とした「就活学生登録」や企業の人事担当者を講師として招請する「職業講話」等）の概要説明を行う。

【ハローワーク】

管内の雇用状況について情報提供を行う。また、学卒ジョブサポーターによる就職支援の概略について説明を行うとともに、学校との連携を強化する。



<津山市コメント>

学校進路担当者と情報や危機意識を共有することにより、就職希望生徒の地元就職の礎を築いている。

<労働局コメント>

岡山県北地域では若者の県南あるいは都市部への流出が続いており、若年労働力確保対策が急務となっている中、学校訪問活動の果たす役割は大きい。

【効果】

津山広域事務組合が実施する岡山県北地域の高校生を対象としたH25年度の就職意識調査では、地元就職希望者の割合が、30.1%と低いが、就職者のうち地元へ就職した率は75.3%と高く、学校訪問活動が岡山県北地域における人材確保の一端を担っている。